



仁照寺花園だより

船子山 仁照寺
住職 江角弘道
電話:72-8379
携帯:090 4801 9676

新春を寿ぎ 皆々様の
ご安泰をお祈り申し上げます。

旧年中はなにかとお世話になりありがとうございました。本年も相変わりがせぬ
何卒よろしくお願い致します。 合掌

平成二十九年 元旦

本年の主要行事予定

- ・春の彼岸法要、定期巡教（3月中旬頃）
- ・大本山妙心寺団体参拝（7月1日～2日）
- ・山門大施餓鬼法要・檀信徒総会（8月3日）
- ・秋の彼岸法要（9月中旬頃）
- ・出雲三十三観音霊場参り（11月中旬～下旬頃）

詳細につきましては別途ご案内いたします。

◇新年写経会◇

毎年1月2日午前10時から
開催しています。

ご希望の方はご参加ください。

開創350年記念事業

仁照寺は平成30年に開創350年を迎えます。その記念事業の一環として本山参
拝に30名以上の皆様と共に参加することを熱望しております。

本山団体参拝(平成28年7月2日～3日)

今年はこれまでで最多の22名の皆さまで参拝いたしました。





これからも多くの皆さまのご参加をお待ち致しております。

山門大施餓鬼法要・檀信徒総会(平成28年8月3日)

38名の皆さまに出席していただき、法要ののち総会を行いました。



出雲三十三観音霊場参り(平成28年11月20日)

18名の皆さまで、安来方面の7箇所の霊場をお参りしました。

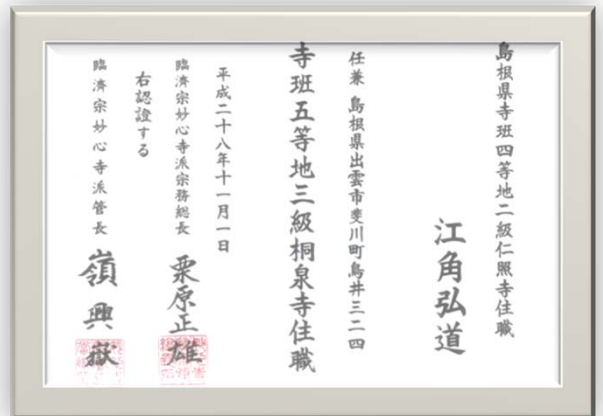


桐泉寺兼務住職に就任しました

桐泉寺兼務住職の十樂寺様が昨年4月より体調不良になられ、法務を執り行うことが困難な状況となってしまいました。

そこで出西、伊波野地区の妙心寺派の寺院(吉祥寺、十樂寺、栖雲寺、仁照寺)の合議の結果、仁照寺が桐泉寺の兼務住職を引き受けることになりました。

本山からの辞令は11月1日付で拝受いたしました。



昨年の住職の活動

昨年は下記のような事柄を発信しました。

- 3月18日(金) 特別養護老人ホーム「斐川サンホーム」にて彼岸法話
5月6日(金) 大田市立第二中学校で「命の授業」
5月17日(火) 松江市立第一中学校で「命の授業」
6月2日(木) 島根県立大学浜田キャンパスで講義
テーマ：「亡くなった娘からの生命のメッセージ」
6月10日(金) 松江西高校で「命の授業」
7月6日(水) 島根大学松江キャンパスで犯罪被害者支援に関する講演
7月13日(月) 島根県立大学出雲キャンパスで招致講義
テーマ：「家族の体験を生かした社会活動」
11月1日(火) 桐泉寺兼務住職の辞令拝受

お寺の豆知識

「布施」という言葉の意味は???

「布施」とは「布を施す」と書いてあります。これに関してのお話を少々。

昔、インドで僧が説法をして回っていました。ある貧しい家で説法をした時のこと。説法に感動した家人が「わたくしの家は貧しくて、お坊様に差し上げるものが何もありません。粗末なものですが、どうぞこれを納めてください」と言って、洗いざらしにした赤ん坊の古いおしめを差し出しました。僧はありがたくそれを頂きそれを集めて縫い合わせ、体にまとうようになりました。それが「袈裟」です。

この話から「布施」という言葉が生まれました。その布の「古いおしめ」には、貧しくても心のこもった感謝の気持ちが込められていたのです。それが「布施」の元々の意味です。僧が体に懸けている袈裟ですが、元々は黄土色をしています。実は赤ん坊のうんちの色なのです。

